

1月16日(金) 幸せ運べるように♪

【ボランティアとは】

阪神淡路大震災の時には、多くのボランティアの方々の支え合っの次の一步があった方も多かったことと思います。何かあった時に、金銭の報酬なく、人の役に立つ喜び、知らなかった世界との出会い、自分の今まで気づかない一面を発見することもできます。やりがいや達成感もあるし、知識と実体験をリンクする機会にもなります。また、進路選びに繋がることにもなります。そんな話を子どもたちとしてもいいかもしれません。



朝、きすみのタイムに取り組んでいると、突然、地震の音が流れました。子どもたちの動きは大変素早かったです。



階段は、壁が崩れ通れません。



子どもたちがいないか確認しています。



ひょうご安全の日

1月17日

阪神・淡路大震災の起(お)こった日

(はんしん・あわじだいしんさい)

- ▶ 阪神・淡路大震災の学びを生かして、未来に伝えていく
- ▶ 阪神・淡路大震災のことをいつまでも忘れず、安全で安心な社会づくりのため

「いのち」について考えました。そして、自分ができる行動や準備について再度考えていく時間となりました。





様々な形の風に
感動し、意味を聞
いてさらに、「へえ
〜」「すご〜」と声
があがりました。



たこ糸を結
ぶことがな
かなか難し
くて。





夢と希望に満ち溢れ、高く!高く!

